

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス くろーばー2			
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基本的な生活スキルの向上プログラム実施 個々の自立を目標とした取り組み	・日頃からおやつを職員と一緒に作る活動を入れている。 ・食事をしたあとの食器は自分で洗う活動を日常化している。 休日には活動室の掃除をみんなで実施、洗濯物を干すなど生活スキルアップに注目した活動を取り入れている。	・現在も実施している自分たちで考えて食材を購入し食事を作る活動を、メニューや役割分担も子ども自身で考え協力して行う力を身につけていく。
2	体力向上のための運動実施 持続する体力、姿勢保持、ルールを学ぶ	・週2回定期的に体育館で運動を取り入れている。 ・サーキットトレーニングにより持続可能な体力づくり、姿勢保持の為に体づくりを取り入れている。 ・ルールのあるスポーツからコミュニケーションスキルの学びを行っている。	・体育館活動は今後も継続して行う。 ・障がい者スポーツの競技参加にむけた活動を実施し年間を通じて、競技スポーツ練習を導入していく。
3	自然体験の実施 地域の方と一緒に学び、共感する	・食育（おやつ、ランチ）について地域の方と一緒に作り、学ぶ機会を作っている。 ・繋がりを持っている事業所と交流し、畑でできた季節の野菜の収穫体験を実施している。 ・屋外活動から社会性を身につけていく活動を取り入れている。	・今後も継続して行う。 ・事業所での活動に地域の方と一緒に参加する機会を設け社会性を身につけていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会	定期的な開催、企画提案が必要	・年間を通じて、保護者同士の交流する企画を計画しておく。 ・避難訓練などと一緒に参加してもらい、共有とともに、保護者さん同士でお話をする時間を設ける。
2	自己決定できる活動プログラム	環境整備、視覚的に選択できるツールが必要	・子どもたち自身で活動を選択できるような環境整備を行う。 ・視覚的ツールを早急に作成していく。
3			